【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】令和6年10月9日(2024.10.9)

【国際公開番号】WO2024/100837
【出願番号】特願2023-549618(P2023-549618)
【国際特許分類】
H02K 11/30(2016.01)
H05K 5/03(2006.01)
【FI】
H02K 11/30
H05K 5/03 C

【手続補正書】
【提出日】令和5年8月16日(2023.8.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
開口部を有する第一のケースと、
前記第一のケース内に設けられた第一の基板と、
前記開口部を塞ぐように前記第一のケース上に設置された第二のケースと、
前記第二のケース内に設けられた第二の基板と、
を備え、
前記第一のケースは、係合部を有し、
前記第二のケースは、
前記係合部に係合する突起を有し、前記突起を軸として回動することにより前記開口部を開閉可能であり、
前記開口部から遠ざかるにつれて前記第二のケースの断面積が小さくなるように、前記第二のケースの側面に傾斜部を有し、
前記傾斜部は、前記開口部を開く方向に前記第二のケースが回動する際に、前記開口部と垂直な方向から見たときに前記第二のケースが前記第一のケースの開口部の外周よりも外側にはみ出さずに回動できるように設けられており、
前記係合部は、前記傾斜部の面と交差する方向に前記突起がスライド移動できる直線状のスライドレールである
モータ制御装置。
【請求項２】
前記第一のケースは、長手側の側面と短手側の側面を有し、
前記スライドレールは、前記第一のケースの長手側の側面に設けられている
請求項１に記載のモータ制御装置。
【請求項３】
前記スライドレールは、前記第一のケースの側面の長手方向に延びるように設けられ、
前記スライドレールによって、前記突起が前記第一のケースの側面の長手方向にスライド移動可能である
請求項２に記載のモータ制御装置。
【請求項４】
前記第二のケースは、長手側の側面と短手側の側面を有し、

前記傾斜部は、
前記第二のケースの短手側の側面に設けられた
請求項２または３に記載のモータ制御装置。
【請求項５】
前記スライドレールは、
前記第一のケースの側面に設けられた空孔である
請求項１から３のいずれか１項に記載のモータ制御装置。
【請求項６】
前記開口部は、長手側の辺と短手側の辺を有し、
前記第一のケースは、
前記開口部の短手方向の幅が前記開口部の他の部分よりも狭くなった段差部を有し、
前記第二のケースが回動して前記開口部が開いたとき、前記第二のケースが前記段差部に支持される
請求項２または３に記載のモータ制御装置。
【請求項７】
前記第一の基板と前記第二の基板は、
互いに電気的に接続されている
請求項１から３のいずれかの１項に記載のモータ制御装置。
【請求項８】
前記第一の基板は、
第一のコネクタを有し、
前記第二の基板は、
第二のコネクタを有し、
前記第一のコネクタと前記第二のコネクタは、
ハーネスによって互いに電気的に接続される
請求項１から３のいずれか１項に記載のモータ制御装置。
【請求項９】
前記第一の基板と前記第二の基板は、
フレックス基板によって互いに電気的接続される
請求項１から３のいずれか１項に記載のモータ制御装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本開示に係るモータ制御装置は、開口部を有する第一のケースと、第一のケース内に設けられた第一の基板と、開口部を塞ぐように第一のケース上に設置された第二のケースと、第二のケース内に設けられた第二の基板とを備える。第一のケースは、係合部を有し、第二のケースは、係合部に係合する突起を有し、突起を軸として回動することにより開口部を開閉可能であり、開口部から遠ざかるにつれて第二のケースの断面積が小さくなるように、第二のケースの側面に傾斜部を有する。傾斜部は、開口部を開く方向に第二のケースが回動する際に、開口部と垂直な方向から見たときに第二のケースが第一のケースの開口部の外周よりも外側にはみ出さずに回動できるように設けられている。また、係合部は、傾斜部の面と交差する方向に突起がスライド移動できる直線状のスライドレールである。